

東京都北区で起きた小学校の火災を受けて

東京都北区の小学校で発生した火災について、皆様もニュース等で目にされたことと思います。出火場所は、普段は火の気がない「音楽準備室」であったと報じられています。

これまで学校での避難訓練は、理科室や家庭科室など、火を扱う場所からの出火を想定することが一般的でした。しかし、今回の事案をきっかけに、「いつ、どこで火災が起きてもおかしくない」という危機感を教職員一同で共有いたしました。

児童の安全を第一に考え、本校では直ちに以下の対策に取り組みました。

- 避難経路の再確認：どのような状況下でも安全に避難できるよう、複数の避難経路を改めて全教職員で確認しました。

- 防火設備・備品の点検と共有：全教職員が集まり、防火シャッターや防火扉が正しく作動するか、また消火器の設置場所と具体的な取り扱い方法について、実地で入念に確認を行いました。

- 電気設備の安全点検：火災の原因になりやすいコンセントやプラグなどに異常がないか、安全点検を実施しました。

今回の火災を対岸の火事とせず、これからも児童が安心して学校生活を送れるよう、日頃からの備えと点検を徹底してまいります。

川口市立舟戸小学校